

国語文化系コース 小論文 出題の意図・解答例

問一

〈解答例〉「たね(種)」と「は(葉)」とがどちらも植物の部位を指し、「たね」がもとになって「葉」ができるという意味的な対応から考えると、「ひとのころ」の「ひと」は「一」であって「よろつ(万)」と対応するとも考えられるが、「人の心」と漢字表記すると、その関係が見えなくなるから。

問二

〈解答例〉(この歌は、「あの人(あなた)に会うことは雲のようにはるかに先のことだ。遠くで鳴る雷の音を聞くように、噂を聞きながら恋い続けているよ」といった意味である。)  
「なる」は、動詞「成る」(または助動詞「なり」連体形「なる」と「鳴る」を掛けており、「はるかになる」で「遠くになる(または遠くにある)」意、「鳴る神」で「雷」の意になる。ここで「なる」を「成る」や「鳴る」と養記すると、この二つの意味のどちらかしか読み取れなくなってしまう。

問三

〈解答例〉『古今和歌集』仮名序で貫之がのべた「ひとのころ」と「よろずのことは」は、「一の心」と「万の言葉」と考えることができる。『土左日記』での仲麻呂のうたを引いて書かれたところにもこれと同じような貫之の考えを読み取ることができる。同じ思い(一の心)を、違う言葉(万の言葉)で表現できるところに「うた」の良さがあり、そして、それだからこそ、異国の言葉による「うた」を理解し、理解される、ということや、著者は『古今和歌集』仮名序の冒頭で貫之が述べていると考え、そう考えたからこそ、『土左日記』の仲麻呂のうたを引きながら述べている部分を深く考察することができたのである。

問四

〈出題の意図〉受験者が、筆者の考えをもとに「翻訳」について発想を広げ、自分自身の直接的もしくは間接的な経験、あるいは「翻訳」に関する事例を引き合いに出しながら、明瞭・適切な表現を用いて、論証的に論じることができるかどうか、を把握するための設問である。

解答例又は出題の意図等

平成31(2019)年度 広島大学光り輝き入試 AO入試 (総合評価方式) 教育学部第三類(言語文化教育系)英語文化系コース

## 広島大学教育学部英語文化系コース

### 平成 31 年度 AO 入試解答および出題の意図

[I]

課題 1 : 解答 : (エ) preference

出題の意図 : この種の問題は、前後の文脈から語の意味を推測する力をみるために作成した。「どれだけ単語を知っているか」「どれだけ珍しい意味を知っているか」といったことを問うための課題ではない。

課題 2 : 解答 : (オ) talent

課題 3 : 解答 : (ア) biased

課題 4 : 解答 : (エ) injustice

課題 5 : 出題の意図 : まず文の主意を理解し、次に、その主意に説得力をもたせるために付加された比喩を的確に理解できるかを問うた。単なる直訳で文の主意を取り違えている解答には高い点数を与えない。

課題 6 : “the distinction between “native” and “nonnative” has grown vicious”もしくは “No one speaks without an accent”

出題の意図 : 文脈に即して代名詞の指す意味内容が理解できるかを問うた。ただし、この問題では、“it”の後に文意を言い直すコロンが使われているので、代名詞が指す意味内容がその代名詞の後ろにある「後方照応」でもどちらでも正解とした。もちろん、前方照応と後方照応の両方を答えた解答も正解とした。

課題 7 : 解答 : (オ) widespread

課題 8 : 出題の意図 : 「著者は、教師としては外国語のいわゆる『母語話者の発音・アクセント』を指導するものの、それは一種の幻想であり一つだけの正しい発音・アクセントが

解答例又は出題の意図等

平成31(2019)年度 広島大学光り輝き入試 AO入試 (総合評価方式) 教育学部第三類(言語文化教育系)英語文化系コース

あるわけではないこと、発音・アクセント指導の目的はお互いにわかりやすいコミュニケーションをすること」という文章の主意を理解しているかを問うた。単に英語の直訳語を並べて、日本語として意味不明の文章を書いた場合は、点数を与えない。

課題9：出題の意図：数量的な関係を表現した文意を、文字通り正確に理解できているかを問う。文章理解においてはしばしば、文字通りの意味の正確な理解が必要なことを受験生にわかってほしいと願っている。

課題10：出題の意図：文章全体を通じて述べられている著者の見解を基盤とすることによって、また“counterproductive”といった語を形態素で分解 (=counter + productive) することによって、“bar”という比喩を正しく理解しできているかを問うた。受験生には、文章にちりばめられているさまざまなヒントを的確に総合して文意を理解することの大切さを自覚してほしいと願っている。

課題11：出題の意図：下線部の前半部分が文の主意であり、後半部分はその主意に説得力をもたせるために付加された比喩であることをきちんと理解しているかを問うた。

課題12：出題の意図：“all the way to” や “reads” (自動詞用法) の意味が理解できた上で、文意を理解しているかを問うた。

## [II]

課題1：出題の意図：英語教育に関する現実認識の多元性を理解した上で、それらを考慮しながら思慮深い見解を日本語で書き表すことができるかを問うた。受験生が示す方針がどのようなものであっても、それが複数の相異なる見解を踏まえた上で導き出されたものであることが説得力をもって示されていれば得点を与えた。

課題2：出題の意図：日本語の主意を適切に英語で表現できるか、とにかく直訳しただけの不自然な英語ではないわかりやすい英語が書けるかを問うた。受験生には、おぼろげな定型表現・常套句を覚えるだけでなく、自らの実感を伴った意見を正確に翻訳できる創造的な翻訳能力も英語学習においては大切であることを自覚してほしいと願った。

以上

## 解答例等

### 【第1問】

設問1 「すごい」という驚嘆の背景には意図せずとも「見えないのに、すごい」という羨みの視線が入っているが、「面白い」にはそれがなく、自分とは違うアプローチに対する驚嘆の意味になるから。(88字)

設問2 (出題の意図) 本文を読んで目の見えない人とのコミュニケーションが「異文化間コミュニケーション」であることに気づけるかどうか、また、異文化間コミュニケーションにおいて重要な観点について本文を踏まえて触れることができるかどうかをみたい。

### 【第2問】

設問1 筆者は、子どものころは、自分が家庭内を含めてふだん使っている言葉が日本語なので、両親や親戚が使う中国語は「外国語」として捉えていた。さらに、中国語を「国語」として強制的に習得させられた台湾の歴史を知るにつれて、中国語は両親の「母国語」なのだろうかと疑うようになった。その一方で、自身の中国語学習をきっかけに、両親にとっての中国語は自分にとっての日本語と同じなのではないかと思ったり、「母国語」ではないにしても、「外国語」ではないと思うに至った。(223字)

設問2 (出題の意図) 日本語を、日本人のための「国語」としてだけでなく、外国人も学び外国人と日本人のコミュニケーションの手段にも用いられる「ニホン語」として相対化する目(あるいは感受性)を持っているかどうかをみたい。

### 【第3問】

設問1 まず、リンゴを見たことがない人にいくつかの果物(リンゴ以外は赤くない果物)を見せてその中から「赤いリンゴ」を選ばせ、次に、そのリンゴが大きいか小さいかを尋ねる。(80字)

設問2 リンゴを見たことがない人は初めて見たリンゴが大きいかどうかわからないのに対して、象を見たことがない人でも初めて見た象が大きいことがわかること(70字)

設問3 平均的なリンゴを基準としてあるリンゴを大きいことを表わす使い方とほかの動

物と比べてある象が大きいことを表わす使い方 (57 字)

- 設問 4 形容詞には、絶対的な形容詞と相対的な形容詞がある。たとえば、何かが赤いかどうかは、ほかのものと比べなくても判断することができるという意味において red は絶対的な形容詞である。一方、何かが大きいかどうかは、同種のもの平均的な大きさと比べたり、同じカテゴリーのほかのものと比べたりするなど、何らかの暗黙の基準をもとにしなければ決まらないという意味において、large は相対的な形容詞である。(191 字)

解答例・出題の意図 (本試験)

問題1 (1) 解答例

札幌は月曜日、国際オリンピック委員会 (IOC) に、2026 年の冬季オリンピック招致を放棄すると発表した。1972 年の冬季オリンピックを主催した北海道の中心都市は、40 人以上が死亡し、大規模な停電を引き起こした、9 月 6 日のマグニチュード 6.7 の地震により、2026 の招致を断念した。この都市では、地震による被害を修復する必要があるため、招致を進めることが不可能であることを明らかにし、現在は 2030 年の大会を行うことを目指す予定である。

問題1 (2) 解答例

世界各地で、女性 3 人に 1 人と男性 5 人に 1 人が骨粗しょう症の骨折の危険性がある。実際、骨粗しょう症性骨折は 3 秒ごとに発生すると推定されている。骨粗しょう症に関連する最も一般的な骨折は、股関節、脊椎および手首に発生する。

問題1 (3) 解答例

アンチ・ドーピング・プログラムの目標は、スポーツ固有の価値を保護することである。これは、「スポーツの精神」と呼ばれる。これは、オリンピズムの真髄でもあり、各人に自然に備わった才能を磨き上げることを通じ、人間の卓越性を追求することでもある。

問題1 (4) 解答例

アメリカの高額医療費は、アメリカ人 6 人に 1 人がジムに行く理由の 1 つになる可能性がある。もう一つの理由は、彼らが多くの車を運転するため、日常生活の中で運動が不足する傾向があるということである。

問題2 出題の意図

夏季に実施予定の東京オリンピック・パラリンピック 2020 におけるさまざまなボランティア活動について、報酬あり、報酬なし、一部交通費等の報酬ありなど、さまざまな意見があると考えられる。その中で、スポーツを支えるボランティア活動に対する報酬のあり方について、受験者自身の考えを表明しつつ、自らの意見を論理的に述べることを求める。どの立場が、正しい、間違っているということはないので、誤字脱字なく、自分の考えをわかりやすく、論理的に述べられる必要がある。

### 問題 I

1. 本英文に続き、筆者は、日本の伝統音楽の教授システムについて、「集団内の連帯感が重要である」と指摘している。これに該当する事例を英文中から抽出し、「集団内の連帯感」とどのように関連するのか説明せよ。

以下の点について言及することが求められる。

- ・流派によって練習する曲の順番が決められている。  
→流派ごとの個性の強化に繋がり、他との差別化が進む。並行して、流派内の同一性、共通性が構成員によって意識されるようになる。
  - ・「名取」においては、芸名を決める際、流派の名称と先生の名前の一部分を受け継ぐ。  
→芸名がそのまま流派を表すこととなり、自身の帰属が明らかとなる他、同門における他の構成員との共通性が認識されることに繋がる。
- ※その他、レッスンの待合室での風景や、他の流派や演奏スタイルに転向することが困難であること等を、補足的に引用してもよい。

2. あなたがこれまで受けてきた器楽又は声楽のレッスンについて、英文の事例と比較しながら考察し、その特徴を述べよ。

論述する際に、以下の点を満たしていること。

- ・箏のレッスンについて、文意に即した理解ができています。
- ・根拠に基づいた比較を行っている。
- ・比較した事例に基づいて、論理的に考察し、結論を導いている。
- ・適切な日本語で表現している。

### 問題 II

論述する際に、以下の点を満たしていること。

- ・自身の音楽経験に基づいて適切にテーマを設定している。
- ・設定したテーマについて、首尾一貫した論理展開を行っている。
- ・テーマの設定と論述の内容に受験者の独自の視点が含まれている。

以上

解答例又は出題の意図等

平成31(2019)年度 広島大学光り輝き入試 AO入試 (総合評価方式) 教育学部第四類(生涯活動教育系)造形芸術系コース

平成31年度 広島大学光り輝き入試

AO入試 (総合評価方式)

教育学部 第四類 (生涯活動教育系) 造形芸術系コース

小論文 出題意図

美術を学ぶ者あるいは美術教育を学ぶ者として、中学校美術科の特性をどの程度自分なりに考え、認識しているかを問いたい。



2019年度 教育学系コース AO 入試 出題の意図

本コースでは、教育学プログラムのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学前に以下のような多様な能力を身につけてきた学生を求めています。

(1) 知識・技能については、教育学を学ぶための基礎的な学力として、日本語及び外国語の読解力を有し、社会や人間、文化等に関わる高等学校段階までの幅広い教科の学習内容を確実に習得した人

(2) 思考力・判断力・表現力等の能力については、教育学を学ぶための論理的思考力、具体的な課題について多様な観点から判断する能力、資料・情報・データを用いてわかりやすく表現する能力を有した人

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度については、教育界が抱えている多くの問題について積極的に情報収集し、問題を解決しようとする意欲のある人

本コースの AO 入試では、以上のアドミッション・ポリシーに基づき、小論文と面接を通して以下の力をみることを意図して出題した。

教育界が抱えている社会全体に関わる教育問題について、自分の意見を他の人に分かりやすく伝え、他人の意見を理解する力、分析的な思考能力、多角的あるいは創造的にものごとにアプローチする姿勢、他人の意見に耳を傾けながら一緒に何かを生み出そうとする指向性

解答例又は出題の意図等

平成31(2019)年度 広島大学光り輝き入試 AO入試 (総合評価方式) 教育学部第五類(人間形成基礎系)心理学系コース

## AO 入試本問

### 心理学系コース 出題の意図

図表から適切にデータを読み取り、読み取った内容をもとに心や行動に関して

考察し、論理的に表現する能力を評価するために本問題を出題した。